



Cecilia Bartoli

チエチーリア・バルトリ

(メゾソプラノ)

私が初めてパヴァロッティをライブで聴けたのは、私がメトロポリタン歌劇場で、《コジ・ファン・トゥッテ》を歌っていたシーズンのことだと思えます。彼の声こそ、神に与えられたものだ、と聴き惚れてしまいました。その後、私がメトで《チエネレントラ》を歌った時、ロンドが終わると、あの大きな体が立ち上がるのが、舞台からも見えませんでした。その足で楽屋に来た彼は、独特のモデナ風アクセン

トで「君は本当にカンピオネッサ（女性チャンピオン）だねえ」と声をかけてくれました。それ以来「チャオ、カンピオネッサ、元気かい？」と、呼んでくれるようになりました。本当に飾らない人柄でした。キャリアの最後まで、賢く自分の声に合うレパートリーのみを選んで歌い続け、晩年まで発声の技術は確実でした。ポップ・スターとの共演やスタジアムでのコンサートなどが語られがちですが、彼も楽しめたかっただけではないかと思えます。彼を継ぐ人物は、もう現れないと思うと、1つの時代が彼と共に終わってしまったようで残念です。

「この項のみ取材・訳・中東生」

